

# 移住交流支援センターだより



地域おこし協力隊  
橋本 泰子  
グリーンパネルが取り  
組む移住交流支援  
事業について、詳しく  
お届けします。

東京の(株)プラットイーズ  
7月1日 寄井に  
『えんがわオフィス』を開所

東京や大阪に本社を持つ企業が、神山町にサテライトオフィス※(SO)を構えています。昨年度から徳島県と神山町での本格的な誘致が始まり、ICT(情報通信技術)関連の仕事を中心とする企業9社が既に神山町内で業務を開始しています。そして、7月1日には、東京に本社のある(株)プラットイーズが、SO神山センター、通称『えんがわオフィス』を神領寄井に開所しました。

寄井座に隣接する『えんがわオフィス』は、もともとあった古民家をガラス張りの建物に改築し、建物のまわりを取り囲むように「えんがわ」が作られています。いつでも気軽に地域の人たちが「えんがわ」に立ち寄れるようにと、「えんがわ」部分と庭は開放スペースになっています。



## 【会社概要】

(株)プラットイーズ  
・本社所在地 東京  
・業務内容 テレビ番組詳細情報の収集編集や配信、アーカイブ(映像の原版を預かる映像図書館のような役割)を行うURL <http://www.plat-ease.co.jp/>  
※サテライトオフィス(SO)とは企業などが本拠地(本社)から離れた場所に設置するオフィスのことで、インターネットなどを通じて、離れた場所においても、本社と同等の業務が出来ることが特徴。

## 隅田さんに聞く『えんがわオフィス』の役割とは?



(株)プラットイーズ会長  
隅田 徹さん(51歳)

「えんがわ」が地域の人たちとのつながりを生み、新たな発想を生み出す場所になることを期待しています。「とにかく気軽に遊びに来てください!」

□新しい働き方の提案をする  
「遊ぶように仕事をし、仕事のよりに遊ぶ」。

「仕事」であっても、「遊び」であつても、ふとした発想の転換で、いつもは当たり前前に思っていることが、全く違った面白いことに見えてくる瞬間があります。プラットイーズでは、「全員がデザイナーであり、クリエイターである」という発想のもと、誰の中にもその発想の転換を生み出すチャンスがあることを社員が共有し、「面白い」発想からビジネス性の高い、値打ちのある仕事を生み出す会社を目指しています。

都会で暮らしていると、いつしか速いスピードで流れる時間が、豊かな自然に囲まれた神山で、ゆったりとした時間の流れを感じると、同じ仕事をしている、同じ景色を見上げた空、何気ない地



▲「えんがわオフィス」内で働くみなさん

な自然に囲まれた神山で、ゆったりとした時間の流れを感じると、同じ仕事をしている、同じ景色を見上げた空、何気ない地

域の人との会話の中に、アイデアが生まれるきっかけが沢山潜んでいるのではないかと思うのです。受動的な働き方ではなく、能動的に働ける環境をつくることで、より「創造的」で「楽しい」仕事が生まれるのではないかと思っています。

世界に誇れるような新しい日本人の働き方の提案を神山から、地方だから遅れているのではなく、地方だからこそ出来る「新しい」をここから発信していきたいと思っています。

## □地元雇用を生む

『えんがわオフィス』の開所にあたり、新たな雇用の場が生まれています。地元神山からも正社員を雇用し、『えんがわオフィス』で働き始めました。

また、新たな会社の立ち上げに伴い、10名程度の更なる新規雇用を予定しています。



## 榎本郁実さん(22) 神領宇大塾地

IT系の大学でデザインや動画を学んで来ました。友人から採用募集を聞き、実家が近いこともあり、応募しました。今はまだ仕事を覚えることで精一杯ですが、一生懸命仕事をして、仕事に慣れたら、もっともっといろいろなことに挑戦してみたいと思います。「新しいことが始まる」という空気を感じています。



## 大下理恵さん(25) 阿野宇神木

「パソコンが使えたらいいよ」という友人の言葉に、自分にも出来る仕事かもしれないと応募しました。業界の専門用語や専門知識が沢山あり、今はまだ分からないことばかりですが、これまでの仕事で感じてきた「楽しさ」とは違う「楽しさ」を感じています。それは、誰かと話していて楽しいという「楽しさ」だけではなく、新しいことに挑戦していく「楽しさ」なんだと思います。